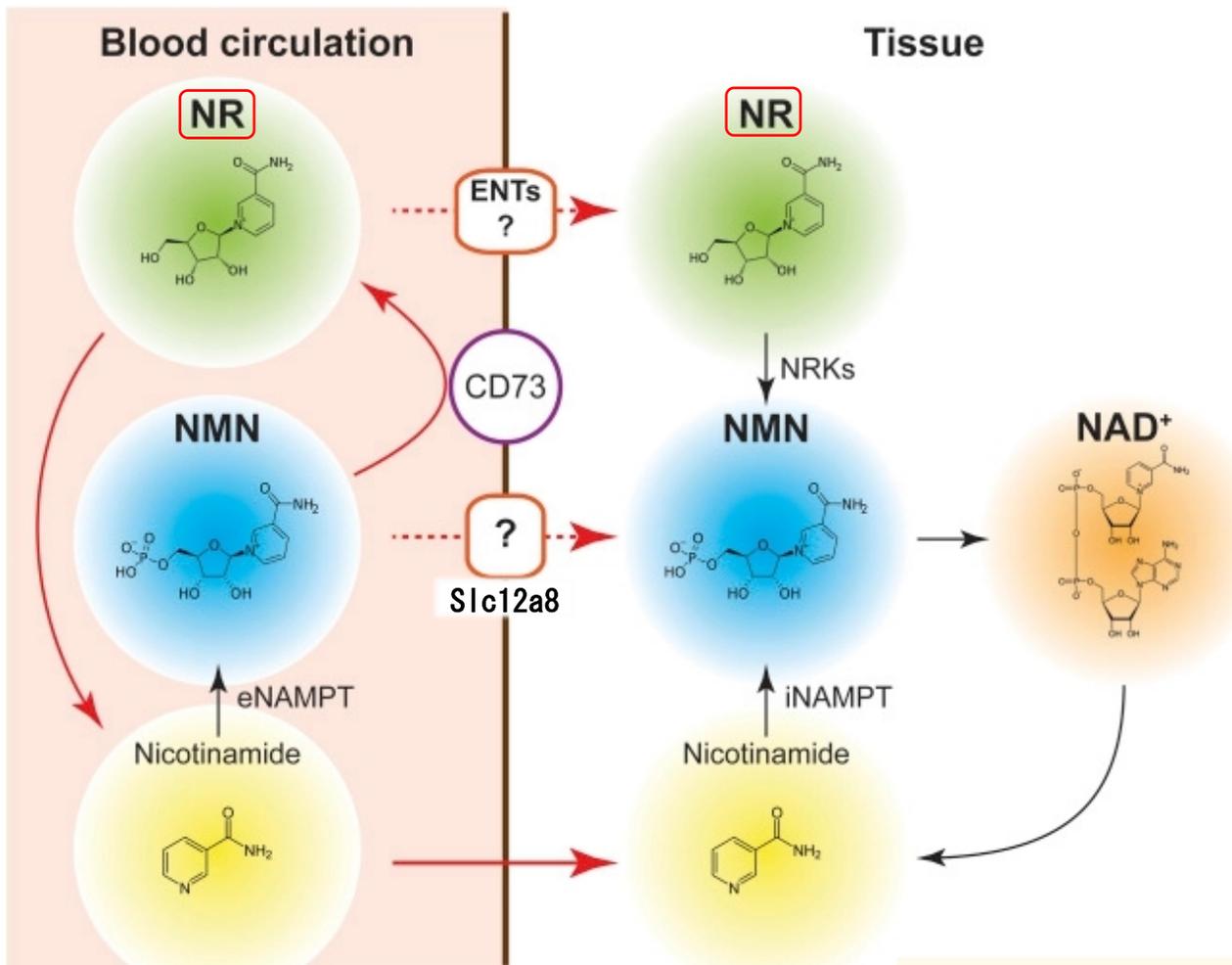
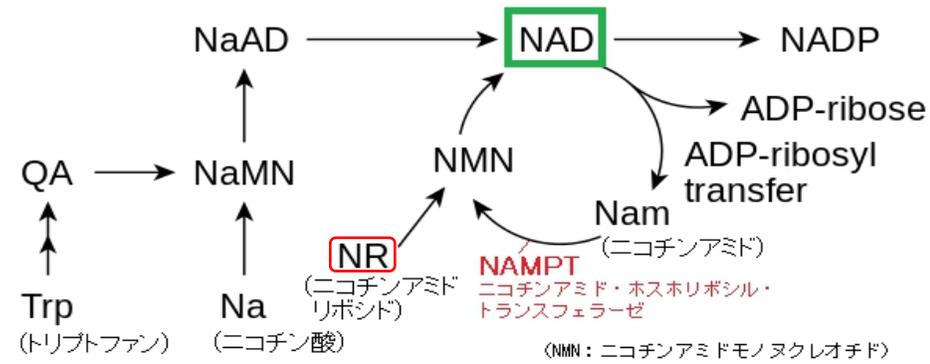


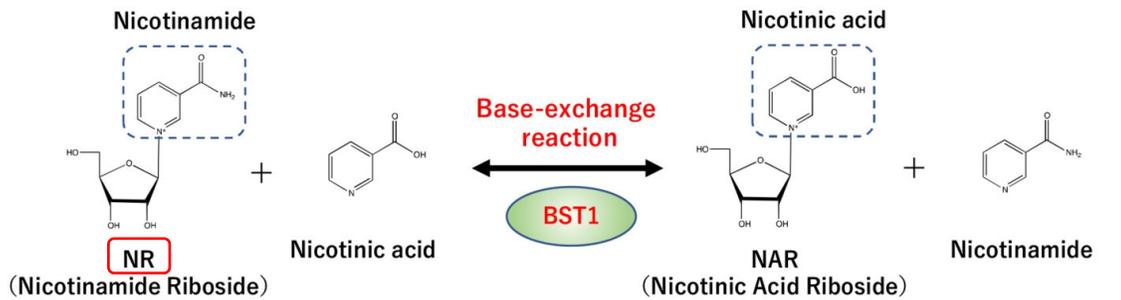
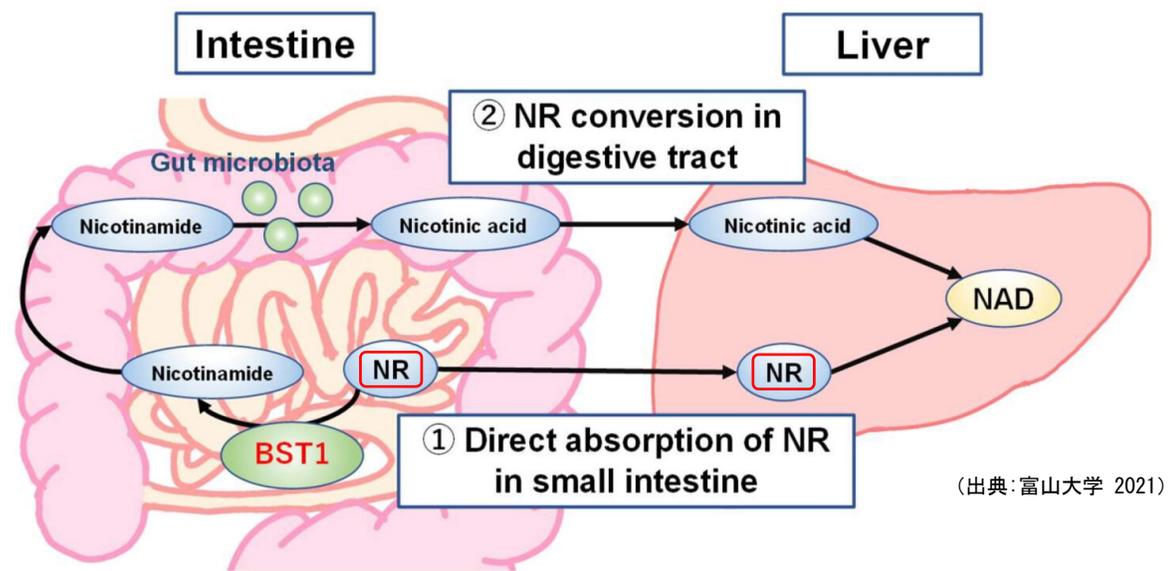
もう一つのNAD⁺前駆物質であるニコチンアミド・リボシド(NR)

細胞内のNAD⁺を高める有効な方法として、NAD⁺の前駆物質であるNMNを補給する方法と、NMNの前駆物質であるニコチンアミド・リボシド(NR)やニコチンアミド(NAM)を補給する方法が主流である。

結論的には、これらの物質は腸管壁、腸内細菌、血液中、肝臓内、組織の細胞内にて相互に変換されていく。



↓ NRを補給した場合、直接吸収される経路と、小腸で分解されてニコチンアミドになり、更に大腸の腸内細菌によってニコチン酸にまで変換されて吸収される経路がある。



(原図の出典DOI:10.1016 / j.cmet.2017.11.002:)

<作成:stnv基礎医学研究室>

(出典:富山大学 2021)